

教育関係者 各位

日本ピア・サポート学会北海道支部 主催
北海道教育委員会、日本ピア・サポート学会 後援

第8回ピア・サポート実践交流会 & 第8回 (生徒指導・カウンセリング) スキルアップ研修会

2015年8月1日(土) ~ 2日(日)

ピア・サポートの有効性と必要性が教育現場を中心に叫ばれています。北海道支部では、概ね夏休み中に実践交流会、冬休み中にトレーナー養成ワークショップを毎年開催して参りました。これまでの両事業で800名弱の参加者を得、少なからず、北海道教育に資することが出来たものと自負しております。今回からは、さらに工夫を凝らし、ピア・サポートと関連させた生徒指導スキル、カウンセリングスキルのアップを積極的に展開して参ります。ピア・サポートを実践している方も、初心者も、また生徒指導面等で悩んでいる方も、どうぞ、お気軽にご参加ください。 <支部長；長野喜美子>

1 日程1；2015年8月1日(土)

第8回ピア・サポート実践交流会

- 10:00~10:15 開講式
10:15~11:00(45) 実践発表Ⅰ 榎原永都子 (北海道七飯養護学校教諭)
11:00~11:45(45) 実践発表Ⅱ 水口 司 (七飯町立七飯中学校教諭)
12:45~13:30(45) 実践発表Ⅲ 佐藤 革馬 (北海道釧路江南高等学校教諭)
13:30~14:15(45) 実践発表Ⅳ 牧野奈穂子 (ピア活動団体「札幌たまりんぱ」代表)
14:25~15:40(75) 参加者実践交流会
~15:55 閉講式

2 日程2；2015年8月2日(日)

第8回(生徒指導・カウンセリング)スキルアップ研修会

- 9:10~ 開講式
9:20~10:10(50) 研修Ⅰ「SGE」 森 正人 (北広島市立西の里小学校陽香分校教諭)
10:15~11:15(60) 研修Ⅱ「討議法」 長野喜美子 (北海道八雲高等学校養護教諭)
11:20~12:20(60) 研修Ⅲ「面接法」 齋藤 敏子 (北海道公立学校スクールカウンセラー)
13:20~14:20(60) 研修Ⅳ「面接法」 長野喜美子 (北海道八雲高等学校養護教諭)
14:30~15:30(60) 研修Ⅴ「面接法」 齋藤 敏子 (北海道公立学校スクールカウンセラー)
~15:55 全体シェア、アンケート記入、閉講式

3 場所；札幌市教育文化会館 305研修室 (札幌市中央区北1条西13丁目
地下鉄東西線「大通り西11丁目」下車、1番出口から徒歩7分。)

4 参加費；1日のみ3,000円、2日間6,000円(支部会員は5,000円)
申込受付後に振込先等をお知らせいたします。

5 申込先；支部事務局Eメール； peerkitasibu@ncv.jp ※ siにはh不要。

申込者の(1)氏名、ふりがな (2)性別、(3)年齢、(4)勤務先名(職名)、
※ここまでの情報は演習の際、グループ分けの参考にします。 (5)支部会員は会員番号、
(6)参加日程(A；8/1のみ、B；8/2のみ、C；両日、のいずれか)をお知らせください。

お問い合わせは、電話；090-3778-8850 (事務局長；齋藤)

6 締めきり；7月25日まで。(ただし、定員になり次第締め切ります。)

7 その他；参加者には「研修証明書」を発行します。ピア・トレーナー申請の単位になります。
<裏面もご覧ください>

発表者及び講師のプロフィールと発表要旨

ピア・サポート実践発表者

【檜原永都子】

北海道支部幹事、ピア・コーディネイター。10年ほど前から、函館市内小学校の先駆けとして校内ピア・サポート活動を展開した。その後、市内中学校へ異動し現在は特別支援学校にて地域支援を行う。これまでのピア・サポート実践を振り返り、トレーニングのみではなく活動に発展させるコツや特別支援の視点を生かした実践を発表したい。

【水口 司】

日本ピア・サポート学会理事・北海道支部副支部長、ピア・トレーナー。今年、ついに定年の年を迎えている。これまで各勤務校で実践してきたピア・サポートトレーニングを中心に発表したい。学校は担当者が異動すると活動が縮小することもまま起こる。生徒の利益を損なうことのないように、引継を意識した協働についても述べたい。

【佐藤 革馬】

北海道支部幹事。初めてピア・サポートの講座を受講したのが北海道支部2013年1月のトレーナー養成ワークショップである。ピア・サポートの魅力に惹かれ、今は学会本部にも入会し深く学びたいと思っている。今回の発表は前任の枝幸高校での実践を中心に発表する。教職員の理解やトレーニングの苦労を参加者とともに分かち合いたい。

【牧野奈穂子】

北海道支部幹事。看護学校等非常勤講師。北海道支部第2代支部長の中出佳操（元北翔大学教授）の後を継ぐ形で、札幌市男女共同参画センターにおける若者サポートとしての「たまりんぱ」に養成したピア・サポーターを派遣している。STVテレビにも取材され学生は意欲的に取り組んでいる。本発表は学生が担当する。DVDもご覧いただきたい。

スキルアップ研修講師

【森 正人】

北海道支部事務局次長。特別支援教育に長く携わってきた。本研修では学級活動やピアサポートエクササイズ前のアイスブレイクとしても使えるSGE（構成的グループエンカウンター）を時間の許す限り、できるだけ多数、紹介したい。短い時間で効率的に心をほぐし、人とかかわることが嬉しくなるようなスキルを演習でお伝えしたい。印刷物もあり。

【長野喜美子】

北海道支部長、ピア・サポートコーディネイター。養護教諭として生徒の心の問題に関わることが多く、友人同士で支え合うピア・サポートがどれほど重要か、これまでの実践を通して強く感じている。本研修会では超簡易なエゴグラムとソリューションの理論を活かしたOTAK診断面談法と、生徒の考えを引き出すブレインストーミング演習を行う。

【齋藤 敏子】

日本ピア・サポート学会理事・北海道支部副支部長、ピア・サポートコーディネイター。日本カウンセリング学会認定カウンセラーとしても30数年活動している。本研修会では、共感的理解にとどまらず、積極的に「必要な質問」を投げかけ、混乱を整理し解決に導く方法と、風景構成法を用いて生徒を励まし希望を見出す方法を演習する。